

お花見平和のつどい2016

・・・福竜丸、エンジン見守って20年・・・

開催報告

日時：2016年4月3日(日) 11:00~15:00

会場：江東区夢の島 第五福竜丸展示館

参加人数：170名

主催：第五福竜丸から平和を発信する連絡会 以下8団体
東京都地域婦人団体連盟、主婦連合会、東京都地域消費者団体連絡会、
第五福竜丸平和協会、一般社団法人東友会(東京都原爆被害者団体協議会)、
原水爆禁止東京協議会、日本青年団協議会、東京都生活協同組合連合会



プログラム

- ◆オープニング
- ◆報告「核兵器廃絶の発信・エンジン移送と設置を語る」
東京都生協連、東友会、東京原水協、東京地婦連
- ◆お食事&ピースミュージック
- ◆「福竜丸、エンジン守って20年」
平和協会、東京地婦連、東京都生協連、都地消連、
東京原水協、東友会、主婦連、日本青年団
- ◆エンディング



開会あいさつ
東京地婦連
谷茂岡 正子さん



核兵器廃絶の発信・エンジン移送と設置を語る

お花見平和のつどい2016は、みんなで手をつなぎ、「花」を歌いながら船を囲んだところからスタート。エンジンの移送と設置に関わった各団体から、それぞれが運動を担った経緯や実現までの取り組みなどの報告がありました。



司会
東友会
村田 未知子さん



「エンジンの引き上げから東京・夢の島に生協のリレーで繋いだ移送」

1996年にエンジンが引き上げられ、和歌山県民運動が発足し、東京にエンジンを運ぶための取り組みがスタートしました。エンジンと船体を一緒に保存できるように署名活動を行い、東京都などへの要請を重ねた結果、エンジンを受け入れる意向が示されました。エンジンは2府6県12ヶ所を回って運ばれ、それぞれの場所で公園展示や集会などが開催された後、修復作業などを経て設置されました。



東京都生協連
竹内 誠さん

「サクラを植樹して」

東京地婦連が主唱して始まり、27年間続けてきた緑の銀行運動は2000年を機に幕を閉じました。最後の植樹は第五福竜丸展示館で樹名は「八重紅大島桜」。樹木のかたわらの標柱には「21世紀を平和の世紀に」のメッセージが添えられています。



東京地婦連
宮原 恵子さん



東友会
山本 英典さん

「第五福竜丸エンジン移送の七不思議」

ピキニ水爆実験の生き証人ともいえる第五福竜丸のそばに引き上げられたエンジンを移設させ、核なき世界・核なき未来に向かって平和の航海を続けてもらおうという都民運動の成功はこれまで東京で経験したことのない画期的な運動でした。



東京原水協
柴田 桂馬さん

「エンジン設置までの働きかけ」

エンジンを東京へ移送するための都民運動を大きくしていこうと「第五福竜丸絵葉書」を作り、有料で普及し、収益をエンジン引き上げ費用にと贈りました。また、エンジンの設置図を公募するなど、夢のある運動で広げたり、署名を集めて都議会に提出したりしました。





たのしくお食事&ピースミュージック

松島よしおさんと仲間たちによる歌と演奏♪



みんなで楽しくお食事タイム♪



昨年に引き続き、ピースミュージックは『松島よしおさんと仲間たち』をお迎えしました。第五福竜丸を歌った『証しの船』や『花は咲く』など、平和への祈りを込めた歌が披露されました。桜が満開の会場に、深く澄んだ歌声が響きわたり、皆の胸に刻みこまれました。

福竜丸、エンジン守って20年

第五福竜丸平和協会の安田さんからは、「福竜丸エンジンの^{いま}現在」を、共催団体からは、2001年第1回お花見平和のつどいからの「15年間の核兵器廃絶運動の取り組み」についての報告がありました。



展示されているエンジン



第五福竜丸平和協会
安田 和也さん



東京地婦連
端山 純子さん



東京都生協連
秋山 純さん



都地消連
西澤 澄江さん



東京原水協
石村 和弘さん



東友会
家島 昌志さん



第五福竜丸平和協会
市田さん

折り鶴コーナーの報告



エンディング



都地消連
奥田明子さん



最後は、「青い空は」を歌いながら、みんなで手をつなぎ、エンジンを囲みました。

今年も多くの方が立ち寄って、平和への願いを込めて鶴を折っていかれました。ヒロシマ・ナガサキの平和式典に届けます。

1998年、和歌山県熊野灘で引き上げられた第五福竜丸のエンジンが夢の島に移設・公開されたときから続いていた「お花見平和のつどい」は今回で一旦区切りをつけますが、平和の願いを次世代につないでいくために、また新たな一歩を踏み出していきたいと思います。みんなが心をひとつにして幕を閉じました。

